

7月7日：VN 指数は3営業日続伸

昨日 VN 指数は引けにかけて商いが増加し、0.26%上昇して 863.42 ポイントで引けた。

ホーチミン市場では 185 銘柄が上昇したのに対し 192 銘柄が下落した。

売買代金は前日から 35%増加し 5.72 兆ドンとなり、先週の平均水準である 4 兆ドンから大きく改善した。

しかし、6月の平均売買代金は、1日当たり平均 6.67 兆ドンと現在よりも多い。

大型株上位 30 銘柄で構成する VN30 指数は 0.28%上昇し、14 銘柄が上昇したのに対し 10 銘柄が下落した。

鉄鋼メーカーのホアファット (HPG)が 2.7%、ビールメーカーのサベコ (SAB)が 2.5%、建設のコテコン建設 (CTD)が 1.9%それぞれ上昇するなど、大型株の上昇が目立った。

資産規模で上位となる国営 3 銀行では、ベトナム銀行 (CTG)が 1.7%、BIDV 銀行 (BID)が 1.2%、ベトナム銀行 (VCB)が 0.6%それぞれ上昇した。国営中堅銀行のミリタリーバンク (MBB)は 0.6%上昇した。

その他の大型株では、IT 大手の FPT が 1.4%、ビンコムリテール (VRE)が 1.3%、ベトジェット (VJC)が 0.6%、不動産のノブランド (NVL)が 0.5%など、それぞれ上昇した。

反対に、民間銀行の VP バンク (VPB)が 1.4%、不動産デベロッパーの FLC ファロス建設 (ROS)が 1.3%、食品コングロマリットのマサン (MSN)が 1.3%など下落した。

民間銀行では、サコムバンク (STB)が 0.9%下落したのに対し、テックコムバンク (TCB)、HD バンク (HDB)、エグジムバンク (EIB)などは変わらずだった。

大型株ではコングロマリットのビンググループ (VIC)、乳業大手のビナミルク (VNM)がともに 0.4%、大手証券の SSI 証券 (SSI)は 0.3%下落した。

中小型株が中心となるハノイ取引所の HNX 指数は 0.57%上昇し、未上場株市場の UPCOM 指数は 0.23%下落した。

外国人投資家は 3 市場合わせて 500 億ドン（約 2.15 百万ドル）を買い越し、ペトロリメックス (PLX)、ビンコムリテール (BRE)などに資金が向かった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。